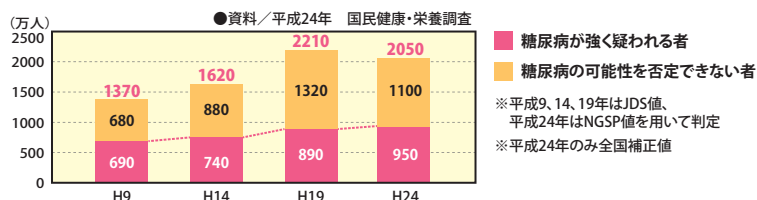


日本国内での脅威

平成24年国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる人」は年々増加傾向にあり、総人口の10%を超える約2050万人の糖尿病患者および予備群がいると推定されています。

「糖尿病が強く疑われる者」「糖尿病の可能性を否定できない者」の推計人数年次推移（20歳以上、男女計）



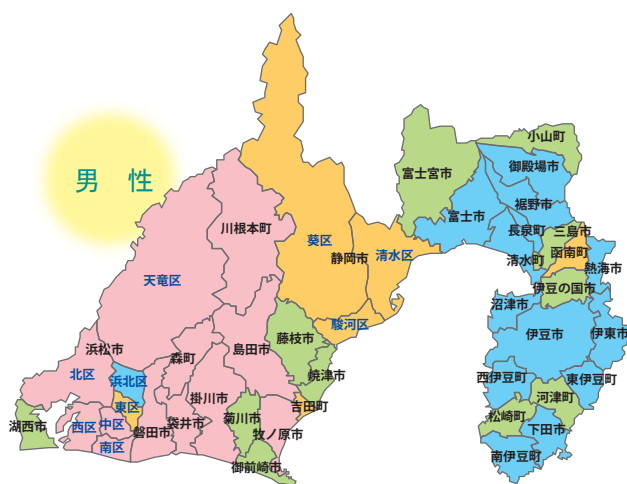
知っていますか？静岡県の糖尿病事情

全国で見るから数が多いだけ。そう思いませんか？静岡県はどのような状況でしょうか？

▶H25特定健診【全県】 糖尿病予備群

静岡県の西部地方は男女ともに糖尿予備群が非常に多い状態です。この予備群の状態を放置していると、糖尿病へと進行する可能性があります。

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

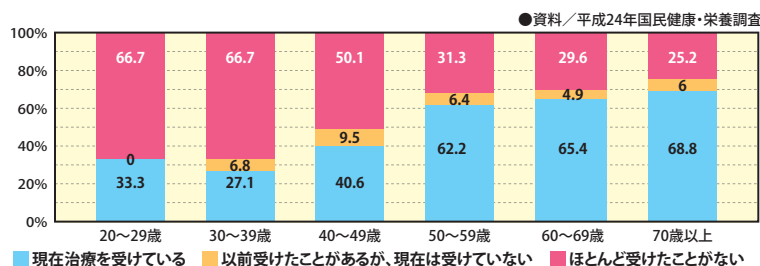


出典：静岡県総合健康センター「平成25年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」

重症化予防

糖尿病は痛みなどの自覚症状が少ないことから、健康診断などで指摘をされても治療を受けないケースが多くあります。働き盛りの20～49歳の約6割が、未受診または治療中断という状況です。糖尿病を放置していると合併症を引き起こし、健康寿命を縮めてしまう可能性があります。糖尿病重症化予防のためには、早期発見・早期治療が重要になります。

「糖尿病が強く疑われる者」における治療の状況（20歳以上、男女計）



※「現在受けている」者は、「過去から現在にかけて継続的に受けている」と「過去に中断したことがあるが、現在は受けている」者を合計した値である。

※「ほとんど治療を受けたことがない」は、「医師から糖尿病と言われたことがない」者を含む。

まとめ

毎年健康診断を受診していますか？血糖値が高いと指摘されていても放置していませんか？

今一度この機会にご自身の結果を振り返ってみてください。

お知らせ 11月14日は世界糖尿病デー

血糖値を唯一下げるホルモン
“インスリン”

これを発見したカナダのバンティング博士の誕生日が糖尿病デーとして制定されています。

世界糖尿病デー



フレデリック・バンティング博士